「ことばの力」は生きる力

教科「日本語」

教科「日本語」は、平成19年度（2007年度）に**世田谷区でつくられた新しい教科**です。
世田谷の子どもたちに、ことばの大切さに気づき、ことばで深く考え、ことばで表現する力を身に付けてほしい、そんな願いから生まれました。世田谷区立の全小・中学校で行われています。

教科「日本語」のめざすもの

教科「日本語」は、日本語の響きやリズムを楽しみながら音読したり、日本の伝統文化や人々の生き方について深く考え、表現することにより、豊かなコミュニケーション力を育むことをめざしています。

小学校

日本語の響きやリズムを味わおう

〈俳句・短歌〉

- 万葉集
- 百人一首
- 松尾芭蕉
- 正岡子規
- 与謝野晶子　など

〈日本の詩〉

- ちいさい秋みつけた
- 椰子の実
- 雨にもまけず　など

〈古文〉

- 春はあけぼの（枕草子）
- つれづれなるままに（徒然草）
- 祇園精舎の鐘の声（平家物語）　など

〈漢詩〉

「春眠 暁 を覚えず…」
「朝に辞す 白帝 彩雲の間…」
「国破れて山河あり…」
「少年老い易く 学成り難し」　など

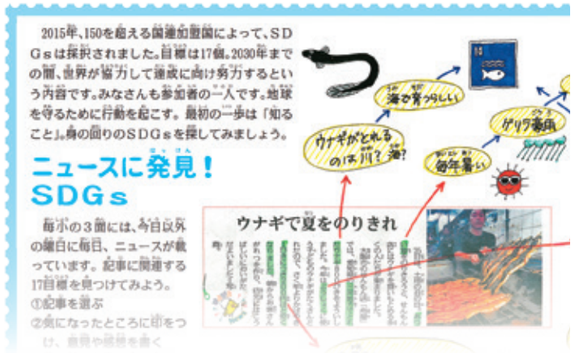
〈論語〉

「子曰わく、学びて時に之を習う…」
「人遠き 慮 り無ければ、必ず近き憂え有り」　など

深く考えたことを表現しよう

◉新聞から SDGs を探して自分の意見を発信！

私たちみんなが SDGs の参加者！ 身近なニュースの中から、世界をよりよくする SDGs をたくさん発見してみよう。
〔小学校５年〕



毎日小学生新聞（2017.7.30）

◉渋沢栄一さんから生き方を学ぶ

人から信頼される生き方とは？ 日本経済の基礎を作った渋沢栄一さんの言葉にはそのヒントが詰まっています。〔小学校６年〕

人間にはいかに円くとも、
どこかに角がなければならぬ。
渋沢栄一『論語と算盤』より

渋沢史料館所蔵

◉物語をみんなで演じてみよう

グループで話し合って役を決め、登場人物になりきって表現します。どうすれば「ながーいねこ」に見えるかな？
〔小学校２年〕

市居みか『いっぽんみちをあるいていたら』より

日本や世田谷の文化を知ろう

◉世田谷区の「郷土かるた」づくり

世田谷区にある地名の由来や年中行事を調べ、五・七・五の俳句のリズムでオリジナルのかるたを作りましょう！
〔小学校３年〕

◉伝統色から知る「日本文化と自然」

日本に古くから伝わる色の名前にはどんな意味があるのでしょう？ 日本人の季節感や自然に親しむ心を感じ取ります。
〔小学校４年〕

鴇色（ときいろ）
小豆色（あずきいろ）
松葉色（まつばいろ）

◉日本の舞台芸術を体験・体感！

古典芸能鑑賞教室で狂言「附子」を鑑賞します。劇場に行って、楽しみながら実際に見て、聴いてみましょう。〔小学校６年〕

提供：万作の会